

**【重点分野－2】2020 春季生活闘争
第5回戦術委員会 確認事項**

連合は本日、2020春季生活闘争の第5回戦術委員会を開催し、現時点の交渉状況を把握するとともに、ヤマ場における回答引き出しを含め今後の進め方について以下の通り確認した。

I. 今後の進め方について

1. 今次闘争を取り巻く環境はさらに厳しさを増しているが、第4回中央闘争委員会で確認した「今次闘争に臨む基本的な態度」を堅持し、要求趣旨に沿った回答引き出しにむけて、最後の最後まで粘り強く交渉を迫り上げる。

「今次闘争に臨む基本的な態度」（第4回中央闘争委員会確認事項より再掲）

- ・現下の社会・経済の厳しい状況は認識しつつも、日本経済の自律的成長に向けて中長期的に取り組んできた流れを止めてはならない。むしろ、こうした状況だからこそ、賃上げの流れを強める取り組みが極めて重要であり、春季生活闘争をはじめとする労使の営みの重要性が増している。
- ・すべての働く者の将来不安の払拭に向けて、今次闘争において最大限の成果を見出していくことが組織労働者の責務である。
- ・連合・構成組織・組合・地方連合会は、今次闘争に取り組むすべての組合の交渉環境を確保するため、連携を一層強化する。

2. 先行組合が引き出した回答を最大限活かし切り、後に続く組合の交渉環境を維持するため、次の対応を図る

<構成組織・組合>

- ・先行して回答を引き出した組合は、「サプライチェーン全体を維持・確保」していく観点から、グループや関係する会社の交渉環境が担保されるよう、経営者に対して最大限の配慮を求める。
- ・構成組織は、諸要求に対する回答内容を、速やかに連合に報告するとともに、その後続く中小組合の最大限の回答引き出し・早期解決に向けてサポートする。

<連合本部>

- ・第1 先行組合回答ゾーン（3月9～13日）のヤマ場（3月10～12日）の期間中、切れ目なく情報を発信し、各組合の交渉を後押しする。

3月 10日	中央闘争委員長アピール
11日	金属労協・連合金属共闘連絡会議 合同記者会見
12日	ヤマ場の回答引き出し状況に関する中央闘争委員長コメント
13日	第1先行組合回答ゾーン集計結果公表および共闘連絡会議合同記者会見

- ・新型コロナウイルス感染症等の影響により経営環境が悪化している中小・零細企業を支援するため「サプライチェーン全体の維持・確保」等を目的とした要請を政府、政党、経営者団体等に行う。

<地方連合会>

- ・地場共闘の回答結果を速やかに公表し地場相場の形成に努めるとともに、「サプライチェーン全体の維持・確保」にむけた、連合本部・構成組織の取り組みを地域の関係者と共有する。

以 上

回答集計・プレス発表の日程

2020年 3月 10-12日	ヤマ場「回答速報」発信	(中核組合中心)
13日	第1回回答集計結果発表	(第1先行組合中心)
19日	第2回回答集計結果発表	(第2先行組合中心)
4月 6日	第3回回答集計結果発表	(3月末状況)

※ 機関会議・諸行動の日程は、第4回中央闘争委員会確認事項(3月5日)参照